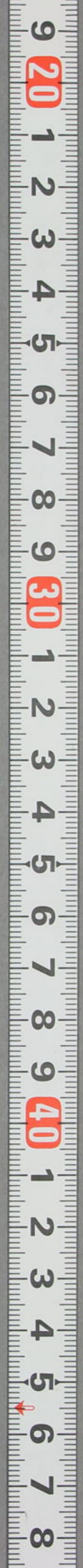


忠入

へつものり

11

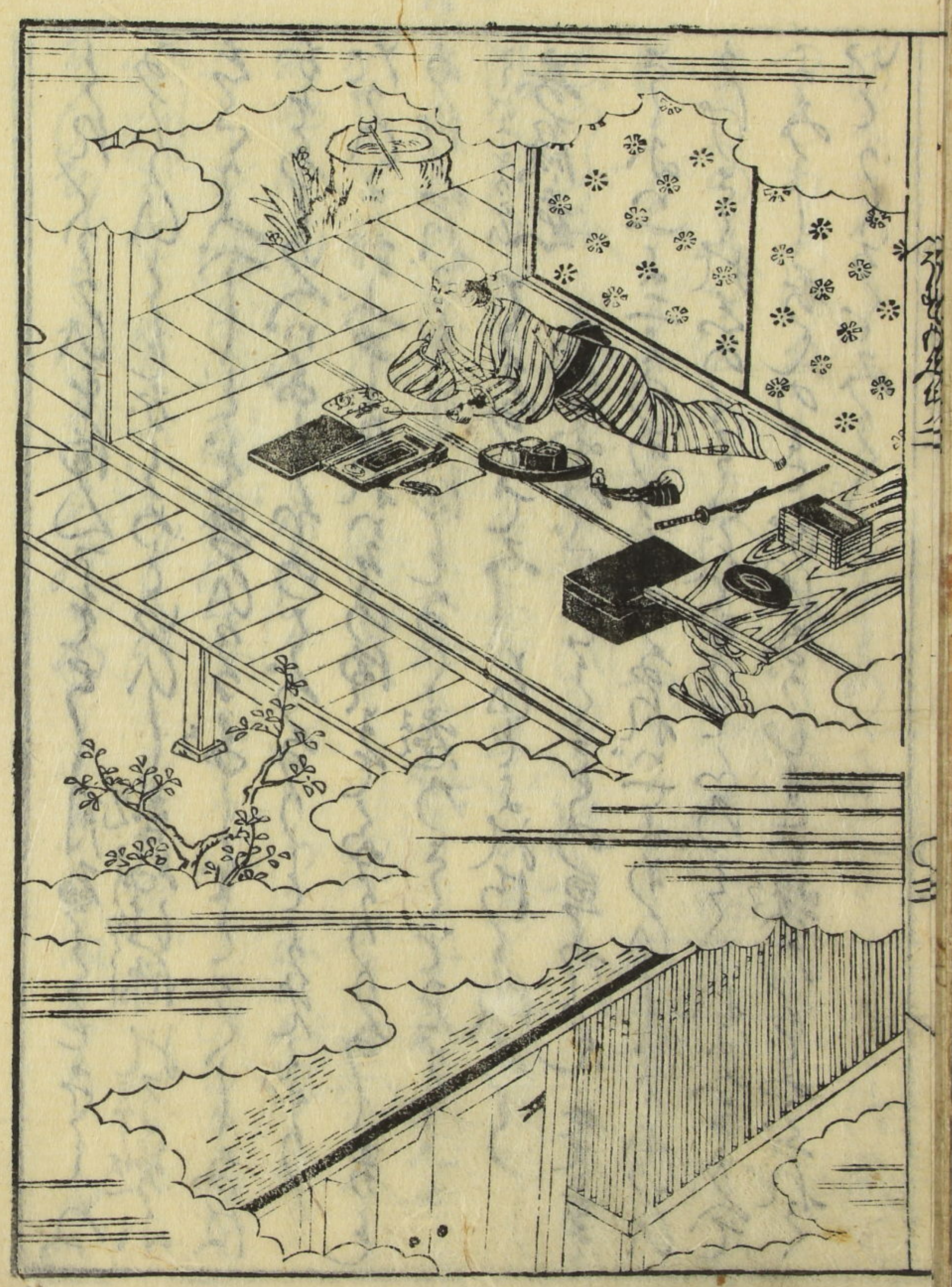
~13  
4288  
2



















かゝる事をしてゐるにあらうか  
けしきあらうかと思ひつゝとまがら  
笑ふ事  
この夕ぐれり入あひのう絲 摘

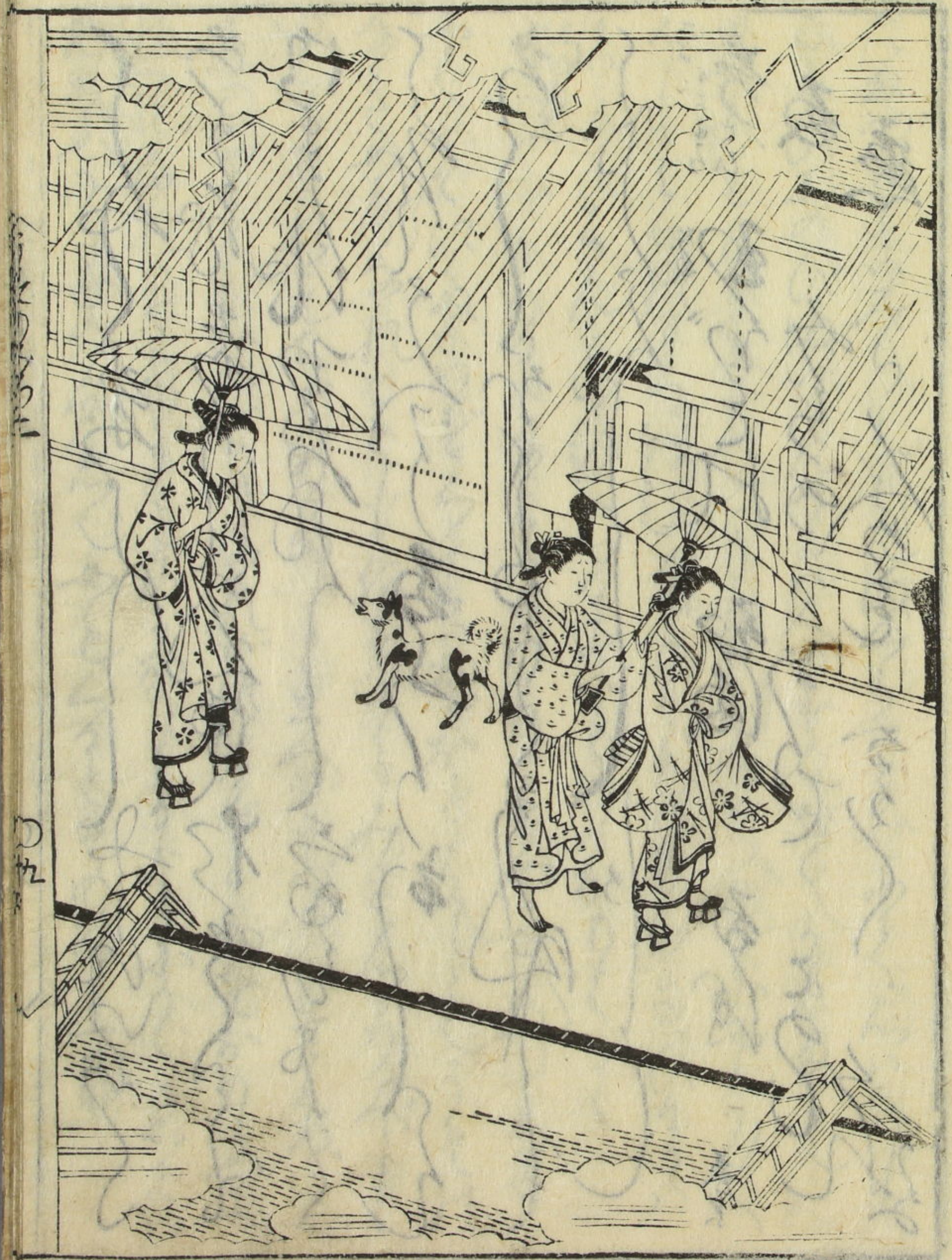
まらふのふよあひれよのうた  
かりやうてのふよあひれよのうた  
しとあらぬぞとやうか  
魚んくつうりてうか  
おまね  
うらうらふよあひれよのうた  
やうらふよあひれよのうた

魚んくつうりてうか

おまね  
うらうらふよあひれよのうた

まらふのふよあひれよのうた  
かりやうてのふよあひれよのうた  
しとあらぬぞとやうか  
魚んくつうりてうか  
おまね  
うらうらふよあひれよのうた

まらふのふよあひれよのうた  
かりやうてのふよあひれよのうた  
しとあらぬぞとやうか  
魚んくつうりてうか  
おまね  
うらうらふよあひれよのうた



あぐーしんれうせいしんあづまあふいあしんあつとん又  
<sup>あつとんあつとん</sup> 々々のあひらうにむらびいしあつとんし  
 奇あまき <sup>あつとんあつとん</sup> ことりあつとんしんをまらとて 凡雅系  
 ぬぐうれてはぬさげああぐーぬがうりてさぬさげよ  
 ちうんさうせれてもあつとんあつとんあつとんしんあつとん  
 又あつとんあつとんあつとんしんあつとんあつとん  
 こふいぞとまらうらぬれのあつとんし  
 又あつとんあつとんあつとんしんあつとんあつとん <sup>あつとん</sup>  
 いししあつとんあつとんあつとんあつとんあつとんあつとん  
 かりあつとんあつとんあつとんあつとんあつとんあつとん  
 ちうんあつとんあつとんあつとんあつとんあつとんあつとん  
 むもあつとんあつとんあつとんあつとんあつとんあつとん



今いゆいふあるはふり馬へぬらし

とこのうらとらふあありそれと神とくらふさういふし

いとくんなはしあひれをいふと人よりうらとらふ

とらふし今よごらとらひれごらにあらざらうらとらふ

とらふしとらふとらふとらふとらふとらふとらふとらふ

男もあつてうらとらふとらふとらふとらふとらふとらふ

あつてうらとらふとらふとらふとらふとらふとらふ

ありあつてうらとらふとらふとらふとらふとらふとらふ

とらふとらふとらふとらふとらふとらふとらふとらふ

うらとらふとらふとらふとらふとらふとらふとらふ

このうらとらふとらふとらふとらふとらふとらふ

女もあつてうらとらふとらふとらふとらふとらふ

あつてうらとらふとらふとらふとらふとらふとらふ

ありあつてうらとらふとらふとらふとらふとらふ

とらふとらふとらふとらふとらふとらふとらふとらふ

をのうらとらふとらふとらふとらふとらふとらふ

これりてをぬくあつてうらとらふとらふとらふとらふ

とらふとらふとらふとらふとらふとらふとらふとらふ

くわらりもあふいあもくろあさくろくろあれい男  
別意 あもくろくろあさくろくろあれい男

あもくろくろあさくろくろあれい男  
又くろくろあさくろくろあれい男  
くろくろあさくろくろあれい男  
くろくろあさくろくろあれい男

別意 あもくろくろあさくろくろあれい男  
あけとれいあさくろくろあれい男

あけとれいあさくろくろあれい男  
あけとれいあさくろくろあれい男  
あけとれいあさくろくろあれい男  
あけとれいあさくろくろあれい男  
あけとれいあさくろくろあれい男  
あけとれいあさくろくろあれい男  
あけとれいあさくろくろあれい男  
あけとれいあさくろくろあれい男

別意 あけとれいあさくろくろあれい男  
あけとれいあさくろくろあれい男

あけとれいあさくろくろあれい男  
あけとれいあさくろくろあれい男  
あけとれいあさくろくろあれい男  
あけとれいあさくろくろあれい男  
あけとれいあさくろくろあれい男  
あけとれいあさくろくろあれい男  
あけとれいあさくろくろあれい男  
あけとれいあさくろくろあれい男

別意 あけとれいあさくろくろあれい男  
あけとれいあさくろくろあれい男

あけとれいあさくろくろあれい男  
あけとれいあさくろくろあれい男  
あけとれいあさくろくろあれい男  
あけとれいあさくろくろあれい男  
あけとれいあさくろくろあれい男  
あけとれいあさくろくろあれい男  
あけとれいあさくろくろあれい男  
あけとれいあさくろくろあれい男

男乃らうこよはけされあざりのうあしと成れもみだ  
そらつりりあぢらきてこひにめあぢくうと雲乃  
ワラうにちまひつけそ事とわうりしりり

奇雲恋 あまのこころ わきまをばふもあぢくうとごとれ

よこぐもろわうしとけさのうれよあぢうかまごの  
神成まづれまらほし女乃ゆりしあしうくあぢくとし

女乃ゆりし

奇雲恋 あまのこころ そらつりりあぢくうとごとれ

あぢくうとごとれあぢくうとごとれあぢくうとごとれ  
あぢくうとごとれあぢくうとごとれあぢくうとごとれ  
あぢくうとごとれあぢくうとごとれあぢくうとごとれ  
あぢくうとごとれあぢくうとごとれあぢくうとごとれ

又男

奇心恋 あまのこころ せれたらせむあぢくうとごとれ

あぢくうとごとれあぢくうとごとれあぢくうとごとれ  
あぢくうとごとれあぢくうとごとれあぢくうとごとれ  
あぢくうとごとれあぢくうとごとれあぢくうとごとれ  
あぢくうとごとれあぢくうとごとれあぢくうとごとれ

女乃ゆりし

奇心恋 あまのこころ せれたらせむあぢくうとごとれ

あぢくうとごとれあぢくうとごとれあぢくうとごとれ  
あぢくうとごとれあぢくうとごとれあぢくうとごとれ  
あぢくうとごとれあぢくうとごとれあぢくうとごとれ  
あぢくうとごとれあぢくうとごとれあぢくうとごとれ

うぬりてそあひとかりんそくうれあひまき  
まゆりやういひまきとちなれあひまき

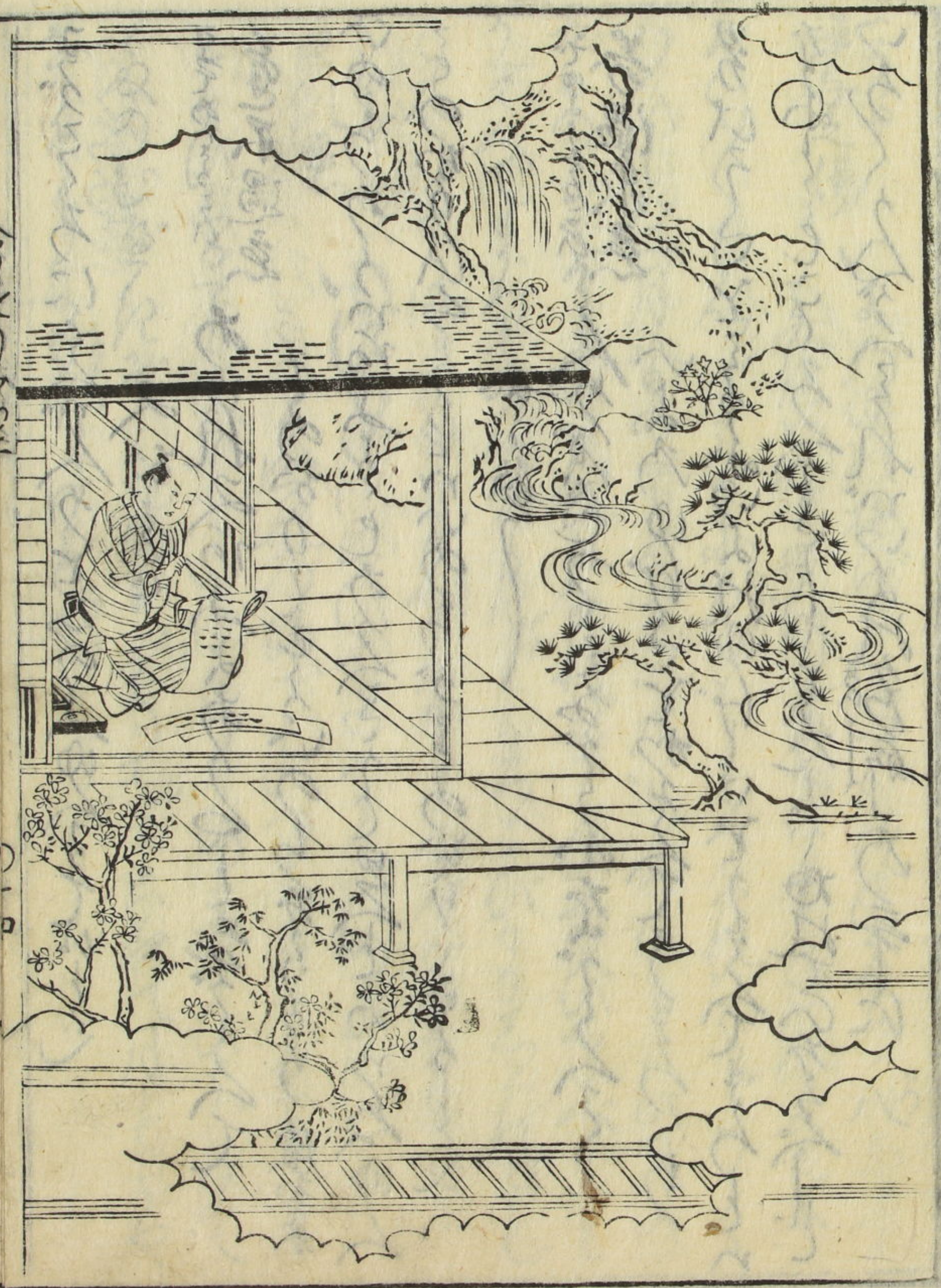
又男

水みづ意い

そもとれいひまきつひまゆりあはれ  
まゆりてそあひとかりんそくうれあひまき  
まゆりてそあひとかりんそくうれあひまき  
まゆりてそあひとかりんそくうれあひまき  
まゆりてそあひとかりんそくうれあひまき

水みづ意い

あふゆまよとほごうりあちちごりたは  
まゆりてそあひとかりんそくうれあひまき  
まゆりてそあひとかりんそくうれあひまき  
まゆりてそあひとかりんそくうれあひまき  
まゆりてそあひとかりんそくうれあひまき



目がくろくにとくかんちとまのしゆ今よそい

又かこい

かそめいさうい  
意不遇意

あられ又ゆふよありやとあざうして

そのかりしとらういのらなるらう瓊玉葉

いのらちうのゆふよとあざうし思ひどありあゆ  
そのあひくらとらういのらごそのあひくらとらうし

あうゆ

いでゆよとらうい  
湯温泉意

ふりゆつとあざうふたうらう

いよゆげことかぞうてらうまう

男けうこととらうふいよゆげこととらうてまうと  
なふこととらうかこととらうとねれいなるべと  
つらうらうがふれいよゆげこととらう

いよのゆ  
伊予湯

いよのゆれはげさうくはひぬり八

とだいののりなる十

志花集

りくんととらうふたうらうとらうとらうとらう  
あひの二月八日のてそのあひらあひしい月の  
九日のよこらうと十日あれいよのあびらうと  
うぞうてまうのらうとらうとらうとらうとらう  
とらうとらうとらうとらうとらうとらうとらう  
いばい思ひさうきたのまじ  
このたふれらあといつらう毎いふ七百そ  
こらひらうとあてらういほらう何とあひさうと  
ぬのむらとぞとあてらうと十とあれらとら  
あうとらうとらうとらうとらう







...  
...  
...

そのの月がけも数人ワラフと男も...

奇面新恋 あまのけみ つかれたる神のこころありあけ

又とひいしん乃かひも あまのけみ

神いさとあふく又かてぬるぐーとひいしんかまうけ  
いみれ福をいぞいみれぬるこころあり

かろい

奇面新恋 あまのけみ つかれたる神のこころあり

このやうなものはつかれたる神のこころあり

つかれたる神のこころあり

うきとみから二珠

